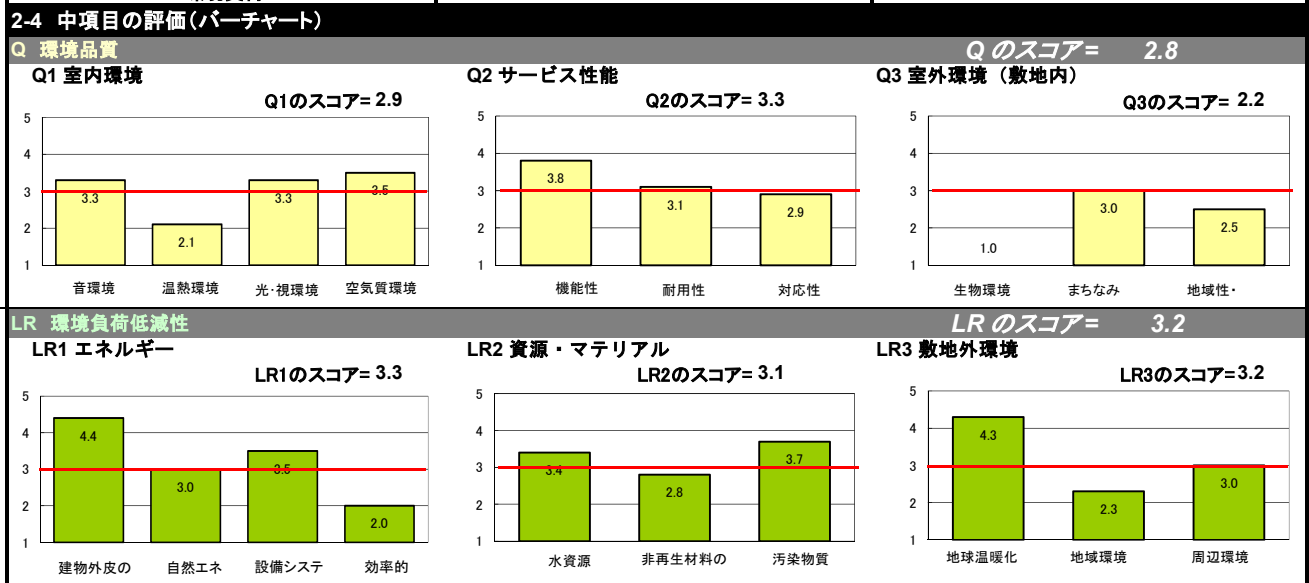
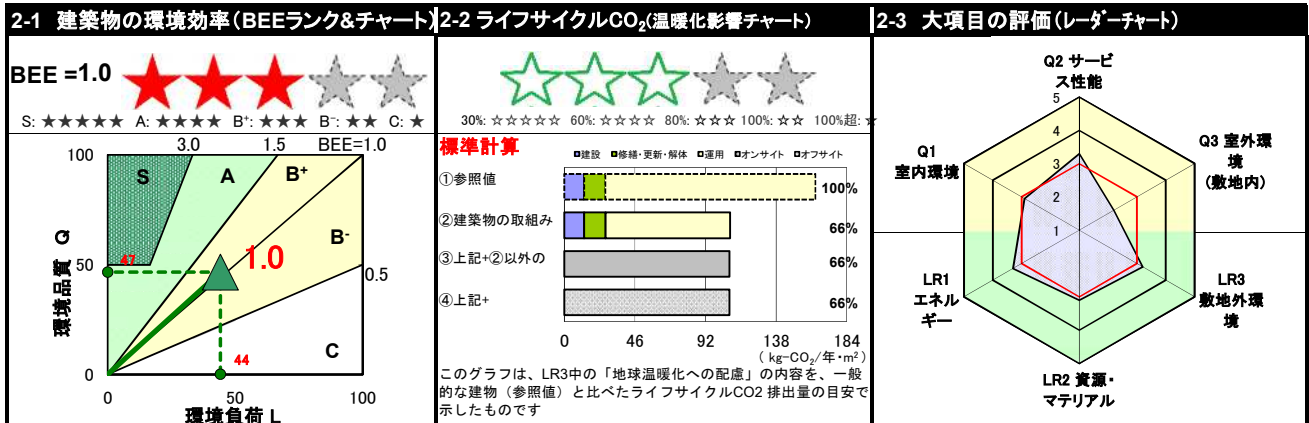
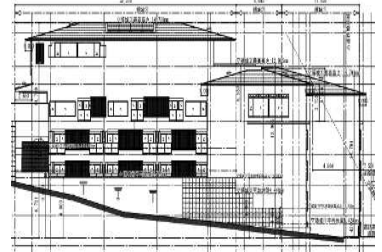


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根強羅ホテルPJ 新築工事	階数	地上4F、地下2F
建設地	足柄下郡箱根町強羅字向山1320-496,497,498,499,1219,1350	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年11月6日
敷地面積	3,511 m ²	作成者	有限会社イタダ設計
建築面積	1,613 m ²	確認日	2024年11月6日
延床面積	6,768 m ²	確認者	有限会社イタダ設計



3 設計上の配慮事項		
総合 余暇を楽しむホテルとして、木や石など自然のあたたかみを感じる素材感や左官等の塗装による居心地の良さの演出を行いくつろぎをもたらす空間づくりを意識した。また、太陽光パネルを設置し省エネルギーを図った。		その他 特に無し
Q1 室内環境 昼光率を高めに設定し、光・視環境に配慮している。 また、F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。 補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や、省水型機器を用いるなど水資源を保護している。 また、フリーアクセスフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を66%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性評価システム)
■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される